

さいと 市議会だより

第70号

平成24年11月1日発行



～伊東満所（マンショ）没後400年記念事業に協力する議員の会～

全議員18名の賛同のもと、5月8日に当記念事業の推進を目的とした議員の会を設立。本会では「のぼり旗」を作成し、市内各所に設置するなどの活動を行っています。

●九月定例会の概要●

平成二十四年第四回定例会は九月三日に招集。十月一日までの会期で、市長提出議案二十九件、報告案件四件、議員提出議案四件、請願一件、陳情一件について審査を行いました。その結果、市長提出議案、議員提出議案のいずれも原案可決とし、請願については採択、陳情については不採択としました。なお、平成二十二年年度決算に係る十二件については、引き続き継続審査としました。

一般質問では十名の議員が登壇し、市長の政治姿勢、農林業行政、商工行政、教育行政、健康・保健・福祉行政、防災行政、消防行政等に関する質問を行いました。

主な掲載内容

- ◎議案 審議結果・・・P2～3
- ◎一般 質 問・・・P3～6
- ◎請願・陳情の審査結果・・・P6
- ◎可決された意見書・・・P6

今後の主な記念事業等のお知らせ

- 十一月十一日（日曜）
記念式典及び都於郡城址まつり
- 十一月十八日（日曜）
市民創作舞台劇「伊東鈍満所」

議案審議結果

第四回定例会(九月三日～十月一日)で審議された議案の概要と結果

- 全会一致で可決
- 賛成多数で可決

条例関係

●西都市議会の議決事件に関する条例の制定について(地方自治法第九十六条第二項の規定に基づく議会の議決すべき事件について、条例を制定しようとするもの)

■西都市企業立地促進条例の一部改正について(立地企業への奨励措置を拡充するなど、所要の整備を行なおうとするもの)

予算関係

■平成二十四年度西都市一般会計予算補正(第二号)について(総務費、商工費など総額二億九千五百二十八万一千円の増額補正)

●平成二十四年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補

正(第二号)について(諸支出金に二千五百八十七万四千円の増額補正)

■平成二十四年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第一号)について(諸支出金など、総額三千四百四十二万七千円の増額補正)

●平成二十四年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第一号)について(後期高齢者医療広域連合納付金など、二百二十二万八千円の増額補正)

●平成二十四年度西都市一般会計予算補正(第四号)について(教育費など総額百八十二万七千円の増額補正)

●平成二十四年度西都市一般会計予算補正(第五号)について(総務費、教育費に総額百二十四万六千円の増額補正)

決算関係

■平成二十三年年度西都市一般会計歳入歳出決算について

■平成二十三年年度西都市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について

■平成二十三年年度西都市簡易

水道事業特別会計歳入歳出決算について

■平成二十三年度西都市下水道事業特別会計歳入歳出決算について

●平成二十三年度西都市宮住宅事業特別会計歳入歳出決算について

■平成二十三年度西都市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について

■平成二十三年度西都市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について

●平成二十三年度西都市西米良村介護認定審査会特別会計歳入歳出決算について

●平成二十三年度西都児湯障害認定審査会特別会計歳入歳出決算について

■平成二十三年度西都市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について

■平成二十三年度西都市水道事業会計決算について

その他

●西都市名誉市民の称号を贈ることについて

彌勒 祐徳 氏
(多年にわたり地域に根ざし

た芸術活動を精力的に推進し、本市芸術文化の発展に多大な功績を残した彌勒氏に対し、西都市名誉市民の称号を贈らうとするもの)

●人権擁護委員候補者の推薦について
池田 カズヨ 氏(再任)

●財産の減額譲渡について(法元地区集会所施設建設に伴い、予定地の市有地を減額して譲渡しようとするもの)

●財産の無償譲渡について(札の元保育所の民営化に伴い、移管先の保育業務が円滑に行なわれることを支援するため、建物等を無償で譲渡しようとするもの)

●財産の無償貸付について(札の元保育所の民営化に伴い、移管先の保育業務が円滑に行なわれることを支援するため、保育所敷地を無償で貸し付けようとするもの)

●消防ポンプ自動車購入に伴う売買契約の締結について(指名競争入札に付した消防ポンプ自動車の購入について、売買契約を締結しようとするもの)

●宮崎県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議

について(住民基本台帳法の一部改正に伴い、宮崎県後期高齢者医療広域連合規約を変更する必要が生じたため、地方自治法第二百九十一条の三第一項の規定により関係地方公共団体と協議することについて、議会の議決を求めようとするもの)

●第四次西都市総合計画基本構想の一部改訂について(平成二十三年三月に策定した第四次西都市総合計画基本構想について、姉妹都市交流などの都市間交流を推進するため、一部改訂を行おうとするもの)

●姉妹都市盟約の締結について(長崎県西海市と友好と親善を深めるとともに、両市の発展を祈願し、姉妹都市の盟約を締結しようとするもの)

●平成二十三年度西都市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(未処分利益剰余金の処分について、議会の議決を求めようとするもの)

議員提出議案

●二次医療圏設定変更に関する意見書(案)の提出について

●地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書(案)の提出について

●新田原基地の部隊改編に反対する意見書(案)の提出について

●消費税増税に反対する意見書(案)の提出について

一般質問

九月十・十一・十二日に十名の議員が登壇し、市長の政治姿勢をはじめ、市政全般にわたって質問を行いました。

商工業の振興対策について
新風会 兼松道男

問① 共通商品券事業について、市民はもとより事業者等にも喜ばれているこの事業を来年度以降も継続していく考えがあるか伺いたい。

答 口蹄疫復興対策事業であり、その目的は一応達せられつつあると考えている。来年度以降については、先ずは商工会議所ギフト券を商工業者のアイデアやサービス向上を活用し、市内経済の活性化に努めて頂き、共通商品券の継

続については商工団体とも協議しながら検討していきたい。

問② 住宅新築リフォーム支援事業について。

イ. 昨年度の実績を上回っているということであるが、平成二十一年度から二十三年度及び本年度の件数はどのようなになっているのか伺いたい。

答 リフォームの件数は、平成二十一年度が百五十一件、二十二年度が百十九件、二十三年度が百三十三件で、本年度が九月五日現在、百三十六件。新築の申請件数は九件で、このうち市外からの転入が一件となっている。

ロ. 継続を望む声があるが、今後の事業継続の見通しについて伺いたい。

答 経済対策事業として取り組んでおり、過去三年間の取組みを拡充して新たに始めたものであるが、実績も上がっているため、三年間は継続したいと考えている。

市長のマニフェストと地元業者の育成について
政友会 黒木吉彦

問① 次期市長選に掲げるマニフェストについて伺いたい。

答 現在、行財政改革を取組むとともに、台風災害や口蹄疫災害の復興を軌道に乗せるため、「改革と再生」に邁進してきた。また地方分権・地域主権改革の中で、地域の自立という転換点に差し掛かっている。そのような状況を踏まえ、市民の幸せ度を高める施策や、個性と魅力にあふれる西都市の創生に向けた事業等

市長として責任のあるマニフェストを検討しているところであり、準備が整い次第示したい。

問② 建設関係で地元業者の育成をどのようになさっているのか伺いたい。

答 地元業者では施工できない特殊工事を除き全ての業種において、地元業者に工事を発注している事が地元業者の育成と考えている。

問③ 平成二十三年度に工事された業者で、地元業者の比率はどれくらいか伺いたい。

答 平成二十三年度の発注状況は、工事本数百三本の内、地元業者の受注率は九十四・二％で、工事金額では九十四・三％である。

問④ 年間を通して公共工事

をつくる事が、地元業者の育成に繋がると思うが見解を伺いたい。

答 財源、予算の問題もあるが、今後も年間を通して発注していきたいと思っている。

教育、医療問題について
政友会 橋口登志郎

問① いじめ問題の対応について伺いたい。

答 心の教育の推進、教師と児童生徒との人間関係を構築することが肝要だと思う。また例えば区域外就学はいじめによる児童生徒の心身の安全のため速やかに対応したい。

問② 「負けるな、嘘つくな、弱いものいじめをするな」で有名な鹿児島県の郷中教育みたいな西都ならではの教育はできないか伺いたい。

答 異年齢の集団が育成するという姿は本市が進める一貫教育の更なる質の向上につながるかと考える。たくましく生きる力を育むことであり充実させたい。

問③ 地元を誇れる教育について伺いたい。

答 伊東マンショの偉業や敬虔な生き方や神話伝説を教材

に取り入れ充実を図っている。

問④ 子ども議会について伺いたい。

答 生徒達の堂々とした姿に感動し、将来に明るい希望を抱いた。高い効果が期待できるよう継続を検討してみたい。



7月31日に開催された子ども議会

問⑤ 二次医療圏統合の問題について伺いたい。

答 二次医療圏存続に向け関係市町村と取り組んでいく。

問⑥ 災害拠点病院について伺いたい。

答 南海トラフ沿いの大地震被害予想が発表された。それにより内陸部にある本市の西都児湯医療センターの重要性は高いものがあると考ええる。

西都原と清水台を結ぶ新道開
通予定は十二月下旬か

市民の会 中野 勝

問① 現在の国保加入数について伺いたい。

答 一万二千四百八十七名。

問② 健診の推進目的について伺いたい。

答 生活習慣病を早期発見し医療費を減少させるのが目的である。

問③ ジェネリック医薬品を使用することで保険料が安くなると思うが、市民の指導について伺いたい。

答 今後、更に指導推進してまいりたい。

問④ 市有林の境界を知っている市職員は何人いるのか伺いたい。

答 現在、市職員はいません。

問⑤ 境界や面積についてはGPS等の器具を使い早急に現地調査を実施すべきであると思うが、見解を伺いたい。

答 市有林の管理を森林組合に委託できないか検討したい。

問⑥ 砂糖キビの栽培推進について伺いたい。

答 耕作放棄地、遊休地対策で栽培可能な作物と考える。

問⑦ 一度植え付ければ、五

六年は植え替えが必要ない作物である。又沖縄地方でも高齢化が進み年々生産量が減少している。本市でも前向きに検討すべきと思うが伺いたい。

答 精糖加工及び技術、又販路等の問題点もあるので、今後十分に研究したい。

問⑧ 以前から西都原台地と清水台地を結ぶ事で、観光とスポーツの促進が図れる良い方法と提案した経緯があるが、これについて伺いたい。

答 双方の大地を結ぶ重要連絡道路として新道建設に向け二十一年度から工事に着手し、現在、清水側が工事中である。



開通が待たれる西都原総合台線

問⑨ 新道開通予定はいつ頃

か伺いたい。

答 十二月下旬の開通を予定している。

問⑩ 開通式典の予定について伺いたい。

答 経費との関係があるので今後十分検討する。

住みやすい環境 行財政改革
医療問題について
新緑会 北岡四郎

問① 現在の保育料については、国基準より二十五%軽減されているが、さらに軽減できないか伺いたい。

答 財政的負担が伴うので研究したいと考えている。

問② 現行の乳幼児医療費助成制度は、小学校就学前までだが、これを小学校三年生まで引き上げ、定額負担による支援はできないか伺いたい。

答 子育て支援策の大きな柱であるので検討したいと考えている。

問③ 成熟した地域社会の実現を目指すためには、社会的に弱い立場の人を支援できる環境づくりを行うことが重要だと考える。障がい児保育や就学前児童保護者の病時病後児保育の更なる充実を図る考

えはないか伺いたい。

答 障がい児については、支援体制と職員の専門知識と技能向上を図り充実に努め、病時病後児保育についてはもう一箇所設置について検討したい。

問④ 市の遊休資産で売却可能な土地についてどのような対策をとられるのか伺いたい。

答 立野住宅跡地については一般競争入札の準備を考えている。新町の保留地は予定価格の変更を行い処分することを考えている。

問⑤ 第三者検討委員会の結果はいつ出るのか伺いたい。

答 九月中には提出したい。

消防職員の増員と消防団員の
出動手当の引上げを
日本共産党 狩野保夫

問① 米海兵隊の垂直離着陸機「MV22オスプレイ」配備と飛行訓練について見解を伺いたい。

答 徹底した安全性の検証や十分な説明が自治体や住民になされない限り、配備はもとより、いかなる飛行運用も行われるべきではないと考える。



九州でも訓練予定のオスプレイ

問② 市の窓口等にヒアリング(磁気)ループを設置し、難聴福祉対策を推進することについて見解を伺いたい。

答 難聴で不便を感じておられる方も多くと考えるので、活用については福祉サービスの一つとして設置場所、規模などを含め、研究、検討したいと考えている。

問③ 消防署の体制を整備することは、住民の安全・安心、命と財産を守るべき行政の責任であり、消防職員については、少なくとも条例定数(条例定数四十六人)現員数四十四人の人員を確保することについて見解を伺いたい。

答 議員ご指摘の通りであり、二十四年度は採用予定である。

問④ 消防団員の出勤手当は一回二千円である。消防庁長官通知でも「必要な単価の引き上げの検討を」との要請がされている。引き上について見解を伺いたい。

答 消防団は、郷土愛護の精神に基づき組織であり、地域における安全・安心のために重要な存在であることは十分認識しているので消防本部に協議させたい。

中山間地域の電話通信施策と耐震化、他について
 思いやりの会 荒川昭英

問① 建設事業など投資的な展開をすることで経済の波及効果が生まれ、就業人口の確保になると考えるが伺いたい。

答 公共事業が地域経済に及ぼす影響は大きい。真に必要なものについては、積極的に取り組んでまいりたい。

問② 携帯電話の通信ができない山間地域の解消に向けた施策と通信ができない地域住民に対する衛星携帯電話の推進は図れないか伺いたい。

答 通信事業者にサービス開始の要望をしているが開始に至っていない。今後も県に要

望していききたい。衛星携帯電話の推進は困難と考えるが、どの様な範囲で必要なのか等について検討していききたい。

問③ 新病院の建設時期と建設に対する市の補助金等は考えておられないのか伺いたい。

答 建設時期は三年以内が目標、建設資金は原則自己資金の考えと聞いている。市としては、救急医療や災害拠点病院としての建設であれば補助金も必要と考えている。

問④ 新病院建設に関し、関係町村や医師会の理解は得られているのか伺いたい。

答 理事会や評議員会で説明が行われている状況から、理解は得られていると考える。

問⑤ 学校施設の耐震化を早急にすべきと思うが伺いたい。

答 耐震化することが喫緊の課題である。学校再編方針等を踏まえ、施設整備の計画改定検討会で検討していききたい。

南海トラフ地震対策と防災・減災対策について
 公明党 吉野元近

問① 南海トラフ地震について伺いたい。

答 国の想定を非常に重く受

け止め、震度七と公表されて甚大な被害が予想される。

問② 津波の対策を伺いたい。

答 一ツ瀬川を二十センチメートルから一メートルで遡上する。避難場所として西都インターバス停や国道二一九号の春田バイパス駐車帯等を確保した。今後も市民の安全安心のため避難場所の確保に取り組みたい。

問③ 台風や集中豪雨について伺いたい。

答 台風、集中豪雨や土砂災害に対しても備えを怠ってはならないと感じている。災害の予備知識や過去と現在の気象の違いを説明し、災害に備えるよう啓発を図りたい。

問④ 深層崩壊を伺いたい。

答 国からの公表内容を洪水ハザードマップに反映させて市民への啓発を検討したい。

問⑤ 防災は減災からとの教育に向けた取組みを伺いたい。

答 防災意識を高める「自分たちの地域は自分たちで守る」との自主防災組織が不可欠だ。その組織の中でリーダーを育て、地域や職場で活躍することに期待する。又自主防災組織の中で災害図上訓練やハグ訓練の啓発を図りたい。



災害図上訓練の様子

用して検討していききたい。

問② 木材価格下落対策について伺いたい。

答 県において木材価格対策チームが設置され、関係団体等連携を図りながら対応し、市においても基本方針を策定し、公共事業等での利用拡大を検討している。

問③ 区長の充て職や業務が多い区長の役割について。

答 地区の代表で様々なことをお願いしているが整理できるものは整理し、区長会とも協議してみたい。

問④ 外資系資本による森林買収の対策について。

答 水源となつて森林の荒廃などによって住民の安全安心や下流域住民の生命財産にも危険があり、法の整備など国県に要望していききたい。

問⑤ 学校再編に伴う整備状況と利用しない校舎の利用について伺いたい。

答 教室の棚やトイレ・手洗い場など整備している。整備状況等を十分検証し、協議していききたい。利用しない校舎については、地域の活性化に繋がるよう地域住民の意見を聞きながら検討したい。

問⑥ 学校での防災教育について伺いたい。

答 東日本大震災等、防災意識を高く持ち、被害を最小限に食い止めるための実践的な対策を講じる必要性を感じている。

農林業行政・区長の役割・学校整備について
 新緑会 太田寛文

問① 農家所得向上のための生産対策について伺いたい。

答 品質収量を向上させるためには、良質な堆肥を入れることが重要であり、高齢化により散布が困難になることが考えられるので受託組織の育成が必要と考える。事業を活



耐震補強工事中の銀鏡中学校舎

児童期における認知症サポーター養成について
如水会 恒吉政憲

問① 既に三納小中学校児童生徒が認知症サポーター養成講座を受講しているが、他の学校はどうか伺いたい。
答 学校教育において、高齢者の方々への尊敬や感謝の心を育てることは、人権教育の意味から大変重要なことである。小中学校における認知症サポーター養成講座の実施は、福祉問題を子どもたちに考えさせる貴重な機会だ。有意義であったと聞いているので、今後校長会等とお話しして市内各小中学校で広く実施で

きるようお願いしていく。
問② 救急車の進路の確保について伺いたい。

答 市道については、定期的な道路、パトロールや工事現場等へ行くときに、道路に穴や段差はないか、路肩が壊れていないか等、人や車が安全に通行できるように維持管理に努めている。

問③ 成年後見制度と日常生活自立支援事業について伺いたい。

答 成年後見制度がスタートしてこれまでに、市長申し立ての事例はない。日常生活自立支援事業については、今後利用者の動向や各市町村の状況をみながら、市社会福祉協議会とも十分に協議して、財政的支援を含む各種支援について検討してまいりたい。

問④ 敬老パスカードの申請が、各支所でできないか伺いたい。

答 検討してまいりたい。

請願・陳情
審査結果

消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願

請願者
新日本婦人の会西都府湯支部
支部長 藤崎えい子
審査結果 採択

住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情

陳情者
宮崎県国家公務員労働組合共闘会議 議長 工藤哲三
審査結果 不採択

可決された
意見書

二次医療圏設定変更に関する意見書

西都府湯医療圏が隣接する医療圏と統合されたら病院施設は都市部に集中し、一市五町一村の広大な面積に住む住民や患者は一番近い基幹病院に行くにも遠いところでは二時間以上もかかり、病気を待つ

患者にとって体力を消耗し、心身に与える影響や経済的負担は増大する。また、人口の減少にも拍車がかかり、県土の均衡ある発展を目指すうえからも、むしろ地域医療の充実を図り、患者の流出を食い止める努力をすべきである。よって、県におかれては二次医療圏の設定変更を行わないよう強く求める。
(提出先)
宮崎県知事 河野俊嗣 様

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

「地球温暖化対策のための税」の一定割合を森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築することを強く求める意見書
(提出先)
衆議院議長・参議院議長
内閣総理大臣・総務大臣
財務大臣・農林水産大臣
国家戦略担当大臣
経済産業大臣・環境大臣

新田原基地の部隊改編に反対する意見書

市民の新たな不安を解消し生命・財産を守る立場から、今回の新田原基地の部隊改編については計画の撤回を強く要望する意見書
(提出先)
内閣総理大臣・防衛大臣

消費税増税に反対する意見書

住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税増税に反対する意見書
(提出先)
内閣総理大臣・総務大臣
財務大臣

議会報編集委員会
委員長 北岡四郎
副委員長 恒吉政憲
委員 橋口登志郎
兼 松道男
吉野和博
中野元勝
吉野元近
河野方州
狩野保夫